

『地域おこし協力隊員 横山 浩』

鳥取県鳥取市佐治町

鳥取県略図



風景

佐治町の概要



県境近くに位置する佐治川ダム

南側山腹から望む古市地区
(遠くは河原町、八頭町、鳥取市街地)



狭く長い谷底平地と僅かに広がった台地に居住

5し (5つの「し」)

①

星



②

和紙



③

はなし



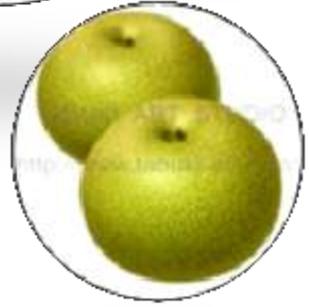
④

石



⑤

梨

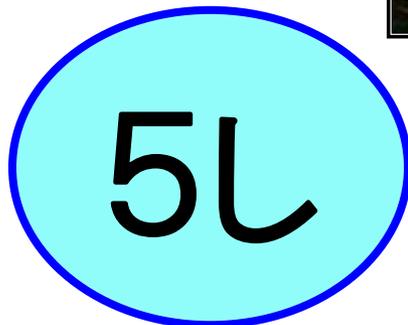




さじアストロパーク



20世紀梨



民話の館



かみんぐさじ



黎明の庭



5つの地域資源で個性あるまちづくり



アスパラガス栽培研修



移動販売事業支援



子ども交流プロジェクト活動支援



アスパラガス栽培研修

「和紙」



因州和紙
(手すき)



紙すき・乾
燥作業



明治21年には佐治町内製紙戸数495戸、従事者1,850人
伝統工芸品として全国で最初に産地指定される





Using 因州和紙
の剪画がここに集結

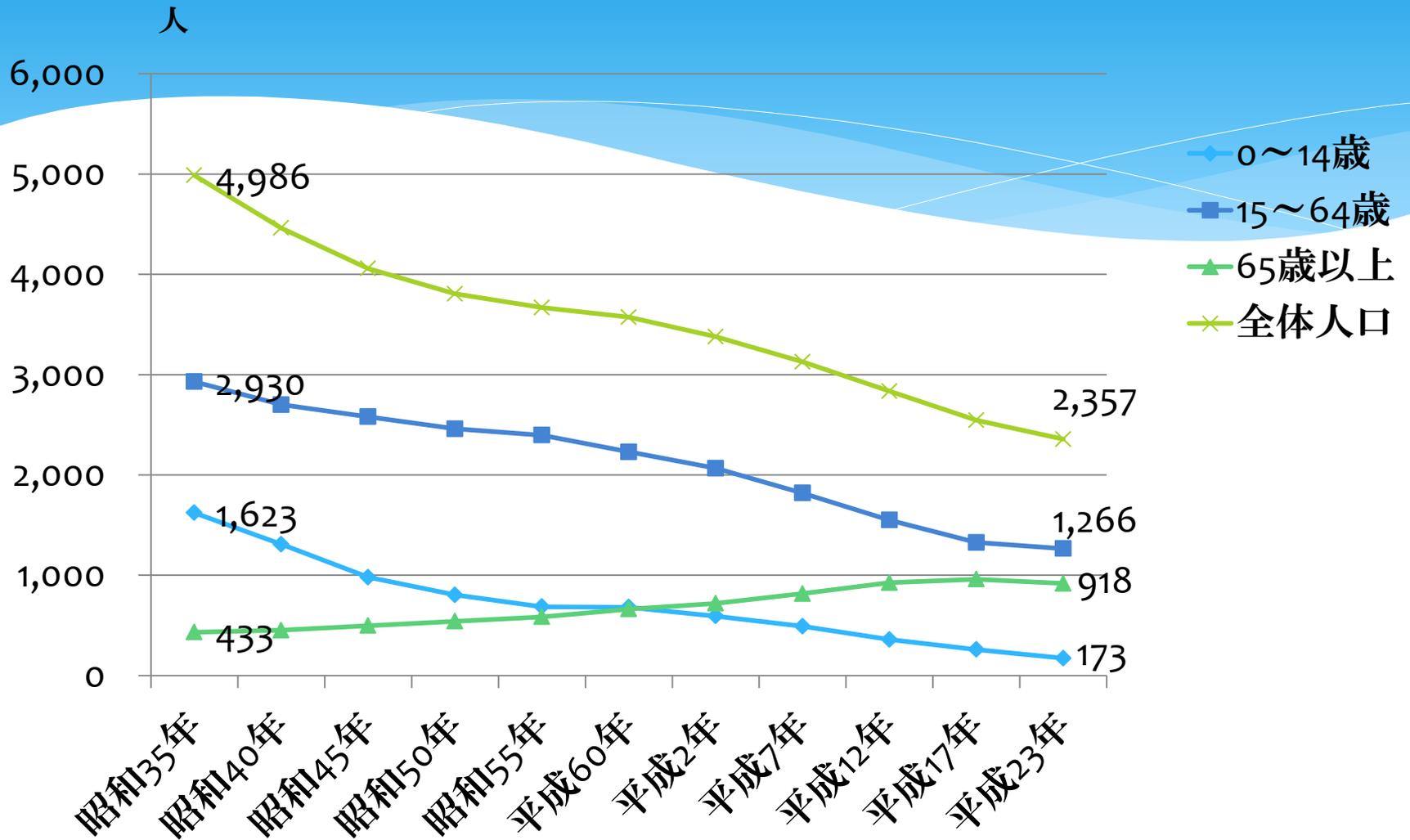
期間
10月11日(土)~10月26日(木)
時間 午前9時~午後4時00分
水曜定休日

特別企画
剪画ワークショップ開催

因州和紙在工所
講師 かみんぐさじ
鳥羽養育院中央記念館 140-4
TEL.0559-92-1818



佐治町の人口推移





※写真はイメージです。

おかず
約10品

佐治の味
かみんぐ弁当

500円(税別)

税込価格540円

7/18(金) お昼頃
配達

注文受付は 7/15(火) まで

注文:88-0177 (株)さじ21 移動販売事業 担当:竹村

ヨコタンもニンマリ おふ

うまあーい!

はじめます

佐治町 地域おこし協力隊
移動販売・手漕ぎ和紙担当
横山さん(佐治町福園在住)



ご清聴ありがとうございました。

持続可能な地域社会の 仕組みづくりを目指して

2014年11月18日

島根県美郷町地域おこし協力隊
原田 志樹

1 概要 美郷町ってなに？どこ？

島根県邑智郡美郷町
(おおちぐんみさとちょう)

島根県の中部に位置する
典型的な中山間地。



世帯数：2,387世帯
人口：5,312人
高齢化率：41.9%
人口減少率：約10%

概要

経緯

活動内容

課題と取り組み

今後の展望

**旧大和村（だいわ）
都賀・長藤（つが・ながとう）地区に配属。**



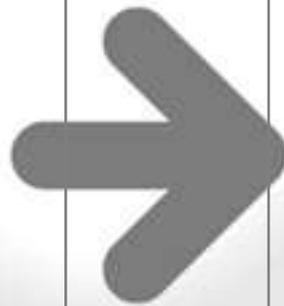
2-1 経緯 協力隊になる前

高校卒業まで
島根県生まれ、島根県川本町育ち。
過疎が進む中山間地で育つ。



田舎はダサい！
田舎には何も無い！

憧れ



進学・就職
大学進学、就職を大阪で。



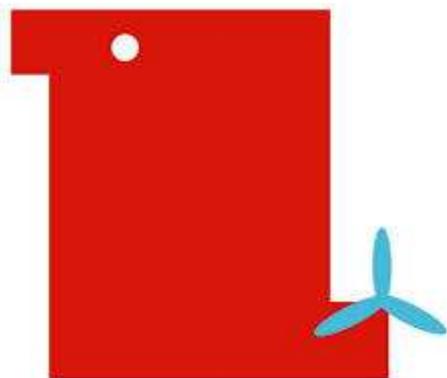
都会はカッコいい！
都会は楽しい！

2-2 経緯 なぜ地域おこし協力隊に？

故郷では、少子高齢化が進み、空き家が増え、進行するシャッター街祭りの出店も極端に少ない・・・

このまま行けば、川本町（島根）は無くなる？

故郷（自分のルーツ）が無くなる＝自分が無くなる？
このまま都会で暮らしていいのか？（自責の念？）



NPO法人てごねっと石見に出会い、地域おこし協力隊を紹介され13年6月より協力隊に。

**旧大和村（だいわ）
都賀・長藤（つが・ながとう）地区に配属。**



3-1 活動内容 地域協議会に配置

住民有志のまちづくり任意団体「都賀・長藤地域協議会」に協力隊4人配属

求められている事
(ミッション)

産直

産直市を核とした地域産業の活性化
出荷者を増やし、産直市の売り上げ拡大する

加工

加工品目新規開発
加工グループの育成

農業振興

高付加価値型農業の推進
農地管理システムの構築

企画

既存イベントの継続
情報の受発信（地域ホームページ、ネットショップの立ち上げ）
交流人口の拡大
地域法人の立ち上げ

概要

経緯

活動内容

課題と取り組み

今後の展望

3-2 活動内容 何から始める？

認知無くして、協力無し。



月1回、活動内容を全戸に配布



寺子屋手伝い



夜釣り前の決起集会



堤防の草刈



グランドゴルフ



地区対抗運動会



地区夏祭り

3-3 活動内容

●既存イベント制作

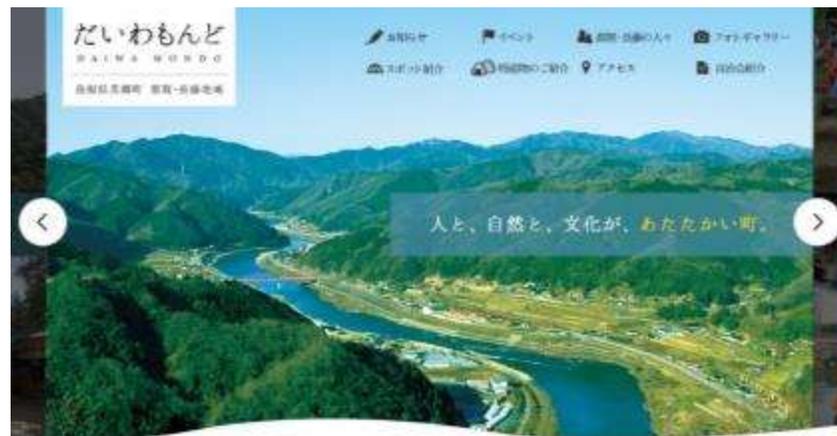


一級河川江の川を使った
「尺鮎釣り大会」

外国のボランティアを受け入れ
はびこる竹林を観光資源に。
伝統芸能と光の祭典&国際ワークキャンプ



●地域のHP立ち上げ



お知らせ

- 2014年11月08日 ▶ 三次健康課より実施された防災訓練
- 2014年10月30日 ▶ 三次健康課はけいさく部の活動
- 2014年08月25日 ▶ 第三回尺鮎釣り大会が予定されています
- 2014年08月12日 ▶ グリーンロード計画が発表されます

イベント

- 2014年08月25日 ▶ 第三回尺鮎釣り大会開催のお知らせ
- 2014年08月11日 ▶ 尺鮎釣り大会の開催が決定しました
- 2014年07月18日 ▶ 第三回尺鮎釣り大会の開催が決定しました
- 2014年06月19日 ▶ 第三回尺鮎釣り大会の開催が決定しました

●法人設立

4-1 住民参加型の地域づくりをめざして

これからの地域（ブランド）づくり

これからの地域ブランディングの**主役は地域住民自身**
住民自身の存在や振る舞い自体が地域のブランドをかたちづくる



- ①地域のブランディングコミュニティを育成
- ②ブランディングのプロセスに参加する中から、共創ビジョンの立案
- ③ビジョンに基づいた商品開発、観光促進などのプロモーションなどを行う
- ④共創プロセスを取ることによって、地域の方々に地域ブランドの伝道者
- ⑤将来の顧客となるような地域外居住者の方々との絆づくり

概要

経緯

活動内容

課題と取り組み

今後の展望

4-2 課題

充て職主体による地域協議会の弊害
置き去りにされる住民の参画

協議会の出発点



住民意識

他力本願的：誰かが何かをしてくれる。
「協力隊だから、これやってよ」
あきらめ意識：ここには、田舎には何も無い。

課題

地域住民のマインドをどのように醸成していくのか？
いかにして、地域住民を巻き込んでいくのか？

概要

経緯

活動内容

課題と取り組み

今後の展望

4-3 地域住民を巻き込む為に、「出来る」を探す

課題解決に向けたプロセス

関係 → 認知 → 共感 → 行動

想いが無いわけではない！何をしたら良いか分からない。
高齢化によってツライ思いはしたくない。
→特別な事で無く色んなかたちの「出来る」を提案。



秋、イベントの手伝い



HPコンテンツに活用予定

概要

経緯

活動内容

課題と取り組み

今後の展望

4-4 地域住民のマインドの醸成 気付きの提案

何があきらめを生むのか？

少子化で子どもが少ない。町内に高校がない。子どもは県外に出て行く。

=ここに魅力は無い・・・？



小学校×公民館×老人会
休耕田での大豆栽培



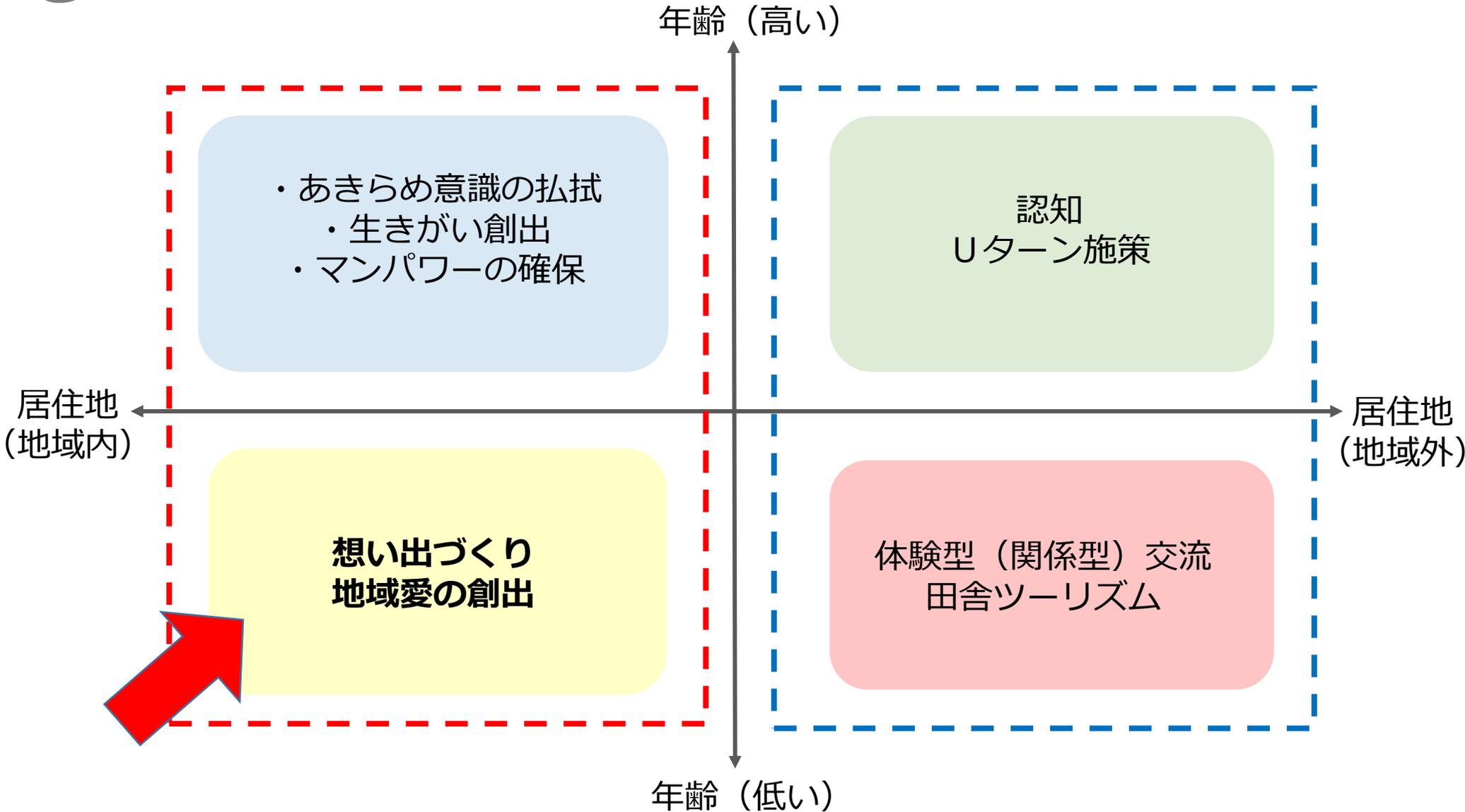
近隣の、島根中央高校協力の
もと、イベント制作



島根県立大学にて
作戦会議

普段関わることの少ない若者が地域に訪れることで、
何かがあるという事を認識する。

5-1 今後の展開 対象と目的（誰に・何のために）



概要

経緯

活動内容

課題と取り組み

今後の展望

5-2 今後の展開 モンコレとWarazy

東京コレクション??神戸コレクション???

時代は

中国地方発、モンペコレクション（モンコレ）だー！！

田んぼが黄金に輝く中、もんぺでランウエー！

誰か一緒にやりませんか？（予算お持ちの方大歓迎）



Newブランド
Warazy(ワラズィー)

MADE BYわら爺

概要

経緯

活動内容

課題と取り組み

今後の展望

ご清聴ありがとうございました。

高梁市 (川上町) 地域おこし協力隊

Profile.

Edwin Takeru Nagano (34)

長野 エドウィン・タケル

∴ コスタリカ共和国出身 ∴

～2012.9.1～

神奈川県鎌倉市 より

↓

岡山県高梁市 へ 移住



瓦煎餅

・鎌倉市では瓦煎餅の職人をしていました。

委嘱後

地域おこし協力隊として活動

高粱の魅力は地域ごとに雰囲気ガラリと違うところなんです！

弥高山頂上は654m



古い伝説あります！桃太郎だけじゃないんです！

有漢町

備中町

成羽町

高粱市街地

川上町

この地域を担当してます



標高約500mでの山暮らし

広島県福山市(1時間)

倉敷市(1時間)

ザ☆カンタン
- 高粱市MAP -

～はじめての活動～

郷に入れば 郷を探れ！



- ・集落への挨拶まわり
- ・集会や行事やイベントへの積極的参加
- ・動画撮影(ローカルTVへの投稿)
- ・特産品こんにやく加工場でのお手伝い
- ・事務処理作業
- ・Facebookページの立ち上げ、投稿
- ・協力隊のロゴマークの作成
- ・ゆるキャラのきじ丸との活動
- ・協力隊員同志の連携活動(燻製作り、イベント企画や開催、隊員同志の意見交換、情報シェア、毎月発行新聞作り等)



～現在の活動～

- ・集落長としての活動(定例集会、草刈りの準備等々...)
- ・特産品開発(主に南蛮、コンニャク、銀杏、イノシシ肉)
- ・獣害対策活動(主にイノシシの狩猟・部位解体・加工)
- ・キャンプイベントの開催
- ・移住希望者の農村体験(受け入れ)
- ・ゆるキャラ「きじ丸」での活動
- ・環境整備(林業、竹林の伐採、草刈り)
- ・基本なんでも屋



～活動外 フィールドワーク～

- ・消防団員としての活動
- ・伝統行事「渡り拍子」の調査、研究会の立ち上げ
- ・草野球
- ・水道工事のアルバイト



任期終了後は...

ラテン系田舎暮らしの開拓！！

愛！
陽気
積極的
新しいものに挑戦
みんなで大家族！



自ら解体したイノシシを使った中南米ジビエ料理！！



南蛮(とうもろこし)は中南米から来たんです！今年は2500本育てました。



岡山県高梁市 地域おこし協力隊
佐藤 拓也 (2年2か月)



吹屋げんき酒場

夜の交流拠点



ラーメン 焼キ魚 おでん 熱かん ビール 鍋

第五回

吹屋げんき酒場

あつたか屋台村

とき 11月8日 18時から

ところ 長尾醤油蔵

※暖かい格好でお越しください

問合せ 地域おこし協力隊 佐藤拓也 (080-1489-6099)

あつたか屋台を
食べながら、BE
NGALART出展
アーティストと交流し
よう！今回は土間と屋外ス
ペースが会場です。いつもとは違う屋
台の雰囲気をお楽しみ下さい。

入場無料





石巻の味

坐せ

TAKARA II



げんき酒場の取組み

地域が必要としているが、そこに無い事に取り組む

→居酒屋

お金を発生・循環させる仕組みを取り入れる

→お酒を販売

ひとりでしない

→巻き込めば巻き込むほど集客が上がる、効率が良くなる

色々な人を交流させる

→ひとりぼっちにさせない仕組み(踊り、歌、接客)

来年もさらにパワーアップさせて取り組みます。



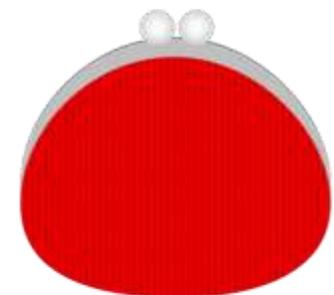
今後の目標 3つの財布 つくります



雑貨販売
「もりがくれたもの」



特産品販売
「えんむす商店」



地域サービス
「てご人企画」



三原市地域おこし協力隊 活動事例報告

三原市地域おこし協力隊

からい ゆかり



目次

- 1、自己紹介
- 2、地域おこし協力隊になったきっかけ
- 3、活動地域紹介
- 4、協力隊の業務内容
- 5、成果
- 6、課題と今後の展望

1、地域おこし協力隊になったきっかけ

- きっかけ・経緯（時系列）
- 青年海外協力隊に応募時、JICA・NGO研修（2ヶ月間）に参加していて、研修の内容が「地元学」やコミュニティー開発で、私の課題地域として地元（三原市高坂町）を題材として勉強した。
- 青年海外協力隊に、東関東大震災が起こったこと。
- 帰国後、日本の過疎地での地域づくりに携わる仕事に就きたく、タイミングよく、地元である三原市で地域おこし協力隊を募集しているとネットで知り、応募。

2、活動地域紹介

広島県三原市全体

- 面積：471km²
- 地理：広島県の中央東部
（瀬戸内海に接する）
- 市内人口：約99,000人



広島県三原市大和町

- 面積：122km²
- 地理：中山間地域（三原市最西北部。西側を東広島市、北側を世羅町と接する）
- 平成17年：三原市と合併
- 町内人口：約6300人
- 市内の中山間地域全体の高齢化率が、36%（三原市全体は28%）※H22国勢調査
- 主産業：農業
- 三原市中心部まで29km



3、協力隊の業務内容

大和町自治振興連合会

設立年月日：平成15年2月

会員数：2,100世帯

活動内容：

イベント運営事務補助

(従来のやり方に変化を持たせる為、新しい事例を作る。)

独自活動

目的：

個人的に気になった場所、コト等を主体的に活動に起こす。また、ソトモノ視点を活用して、地域に住んでいるからこそ「日常で見落とししやすい」、地域内の情報や場所を「魅力的なモノ」として伝えるため。

内容：

地域おこし協力隊活動報告書作成

イベント企画・運営

町内の情報発信（ネットやメディア）

農事組合法人むくなし

設立年月日：平成15年11月

経営面積：約50ha

主な生産物：

水稲、はとむぎ、じゃがいも（契約）、大和芋、大豆、そば、その他野菜

活動内容：農業従事、イベント補助

三原市地域おこし
協力隊
@大和町

4、成果

【成果】

- 1年目に知った事や体験した事を素に、2年目にイベントの発案・企画をし、形が見えるものができるようになった。また、その事で問題点を改善させる為の事例を示すことができる様になった。

《事例1》 だいわ元気まつりにおけるイベントブース出展

《事例2》 三原市中心地での大和町PRイベント

- 町内外の人へ「地域おこし協力隊」の存在や「地域おこし協力隊活動」が知られるようになった。その事で、行事や新規の団体立ち上げ等に参画できるようになった。
- イベント情報をネットで発信することで、活動地域の人へ情報発信をする事の重要性を感じてもらえるようになった。

事例1:だいわ元気まつりでの イベントブース出展

従来のだいわ元気まつり

毎年10月の第3日曜日
開催

- ステージイベント
小中学校の発表、
各芸能団体の発表など
- 売店出店
町内外の特産品や
飲食の販売
- ビンゴゲーム



2014年: ブース出展

《目的》

参加型のイベントを増やす+地域の
情報発信+来場者の流動促進
=クイズスタンプラリー

《内容》

イベント会場内で特定の人を見つけ、大和町に関するクイズに答えてスタンプを貰い、参加賞ゲット。

《結果》

参加者（子ども）満足度100%、町内情報発信。アンケート調査結果取得し、まつりの実行委員会へイベント継続提案。

事例2:三原中心市街地での 町内PRイベント

大和町備後神楽と直産市 (開催日:11月23日(日))



《目的》

大和町内の芸能と特産品を町外の人へPRする。

《内容》

町内の神楽保存会による古民家での神楽上演。同古民家にて、町産の農産物や飲食の販売。

《取組のポイント》

- 大和町へ来た事がない人や距離的な不便さを感じる人でも参加して貰える様に、主要JR駅近くをイベント会場にする。
- 芸能団体や観光協会を巻き込むことで、継続性を高める。

5、課題と今後の展望

《課題》

- 地域おこし協力隊が主導になってしまう。地域の高齢化ということも含め、住民協同が難しい!?
- 地域のイベント運営などへの若者の参加が少ない。世代間交流の少なさ。

《今後の展望》

- 任期終了後も視野に入れ、地域住民が主体的に行い、継続性が高いものを示し、協同で行う。
- 活動地域の人へ、事例と結果の提供を行い、今後の実施手法の選択肢を増やす。
- 地域おこし協力隊が行うべき役割なのか、地域の中で適任者が見つかるものなのかを見定めながら、活動する。また、連携団体が多いので、優先順位をつけ活動を行う。
- 若者の参加が少ないのならば、参加を促しやすい手法での呼びかけを行う。

山口県 阿武町 地域おこし協力隊 事例報告

平成26年11月18日（火）
中国地方地域おこし協力隊研修会

阿武町地域おこし協力隊 渡辺 香織

阿武町ってどんなところ？

山口県の北部、島根の近く 萩市に囲まれている
人口約3600人 高齢化率43%



主な産業は農業と漁業



高齢化
後継者
不足

...



阿武町における地域おこし協力隊って？

＜渡辺の場合＞

阿武町役場

経済課

観光担当

グリーンツーリズム協議会
事務局

活動内容

- ・観光担当と協力し、観光看板の見直し
- ・グリーンツーリズム協議会と協力し、ツアー等の考案
- ・地域行事への参加 等々...



町内のあちこちに行ってみました



ただブラブラしてるだけ？

■ 阿武町情報フリーペーパー「あぶガイド」の作成

The image displays three covers of the 'Abu Guide' free paper, each for a different season. The covers are colorful and feature various scenic photos of the town of Aburahi. The first cover (October-November) has a green background and lists events like 'Natural Exploration' and 'Festivals'. The second cover (December-January) has a blue background and features a 'Winter Sports' section with photos of winter activities. The third cover (February-March) has a pink background and includes information about the 'Aburahi Station' and 'Onsen Pools'. Each cover also includes contact information for the publisher, 'Aburahi Information Center'.

町内のイベント情報を中心に季節の阿武町情報を掲載。「近隣の町の人」に遊びに来てもらうことを目的に作成。⇒ 町内全戸配布へ・・・

活動の中心を宇田郷地区へ

役場 観光担当

グリーンツーリズム協議会
事務局

阿武町全体が活動地域

- ・活動地域が広すぎる
- ・地域との関わりが薄い
- ・定住への道が見えない

狭く、深く
特定の地域に特化した活動の必要性

宇田郷地区

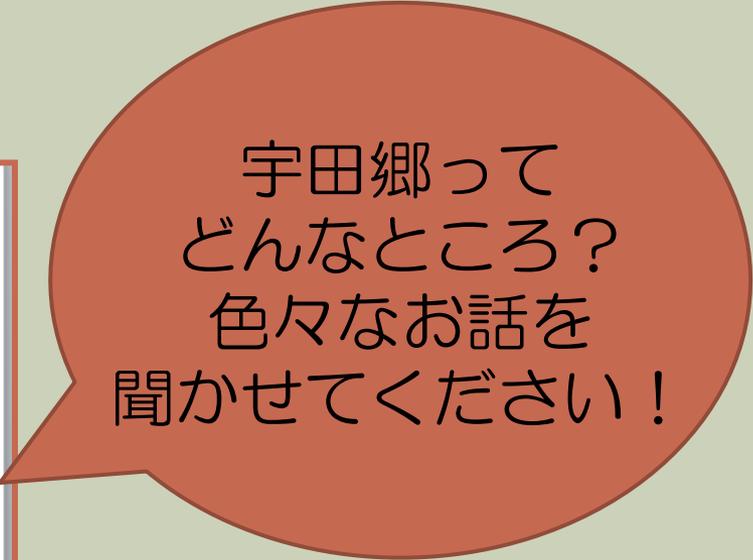
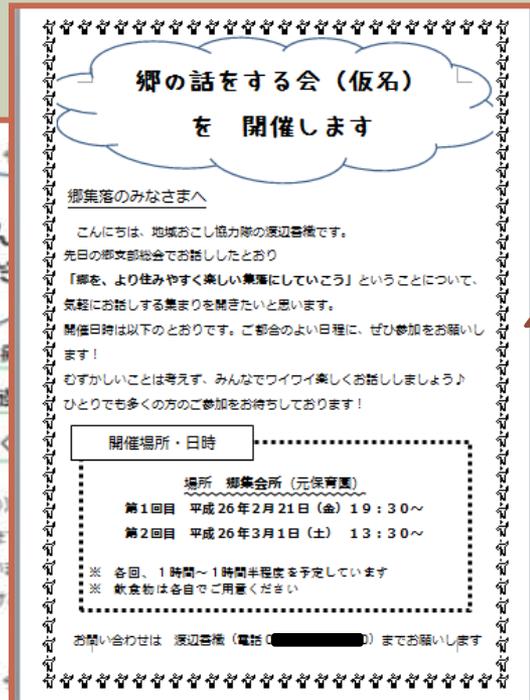
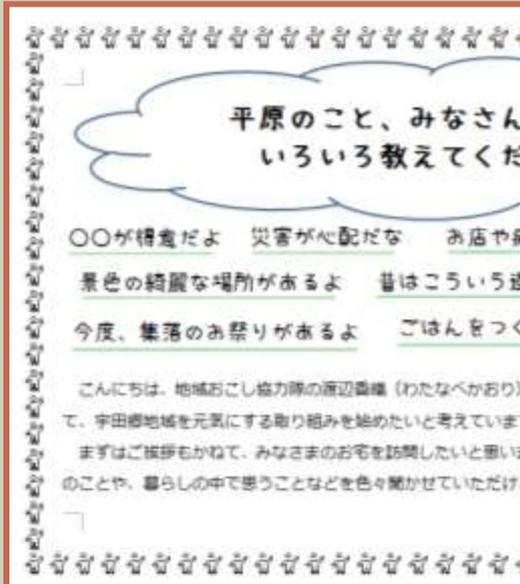
人口 約 600 人
高齢化率 52 %
漁業 ・ 農業



宇田郷で何するの？

- 戸別訪問・各団体への聞き取り・集落訪問・集会開催・・・

まずは
地域を知ることから・・・



宇田郷でやったこと／これからやること

これまでにやったこと

隣町の
イベント
に
雑貨店
として
出店



10戸くらいの集落でイベント開催

つづら あじさい
葛箆 紫陽花観賞とパエリア作り体験

くおくね道を登った先にある、山の中の小さな集落「葛箆(つづら)」。その入り口に有る杉林「只来園(しゆくえん)」では、たくさんの紫陽花が見ごろを迎えています。

田んぼと山に囲まれたこの「只来園」で川のせせらぎを聞きながらのんびり過ごしてみませんか。

近くにある浅や観音様を見に行ったり

「パエリア」(スペインの魚介入り炊き込みご飯)と、モズクのスープを作る体験をします。

10:30 開園
只来園 園主 伊藤博史さんのお茶会なし
観音様と観音漢見学
パエリア作り体験・試食
14:00 閉園

日時：平成26年6月21日(土) 10:15集合！
(天候により中止の場合、当日朝7時から7時30分頃までにご連絡致します)
集合場所：阿武野ふれあいセンター(宇田郷支所) 駐車場
参加費：1,000円(小学生以下500円)
申込締切：平成26年6月19日(木) ※定員30名
お申し込み方法：E-MAIL または FAX (担当：阿武野地域おこし協力隊 渡辺)
お名前・人数・電話番号(当日連絡の取れるもの)をお知らせください
E-MAIL: abu.chikiokoshi@gmail.com / FAX: 08388-4-0213
お問合せ：08388-4-0211 阿武野地域おこし協力隊 渡辺(阿武野宇田支所内) 主催：葛箆集落在籍者とパエリア作り体験実行委員会

これからやること

地域の人をやる気にさせる ⇒ やる気を形にする

「地域の夢プラン」

「地域おこし」は誰がやるの？

自治会

団体

地域を興すために
〇〇をやります！！

相談

協力

町役場

地域外の
色々な人

国・県・民間
の専門家

ご清聴ありがとうございました

